

日本、紛争被害地域へ救急車を引き渡し

2022年12月12日、日本、カナダ、アイルランドの支援で調達された救急車10台が、アパール州、アムハラ州、ベニンギヤングル・グムズ州、ティグライ州へ引き渡されました。日本は、UNFPAのプロジェクト「アムハラ州とベニンギヤングル・グムズ州の紛争とCOVID-19の影響を受けた地域におけるジェンダーに基づく暴力(GBV)とセクシャル・リプロダクティブ・ヘルス(SRH)対策」を支援しており、このプロジェクトの一環で救急車2台の調達を支援しました。

アムハラ州等の保健医療システムは、紛争の影響により壊滅的な打撃を受けています。今回調達した救急車は、性的・ジェンダー暴力の被害者、妊産婦などを含む女性・少女向けに適時適切な保健医療サービスを提供するために各州に配備される予定です。

引渡式において、伊藤大使は、エチオピアの保健セクターへの支援、中でも最も脆弱な状況にある人々に焦点を当てた支援を継続することを約束しました。日本はUNFPAの新規プロジェクト(予算114万米ドル)を12月2日承認し、GBVとSRH対策への支援を継続しています。



新しい救急車



救急車の中の医療機材一式



救急車の引渡し



保健大臣や州政府代表者との集合写真